

ニュージーランドの金利引き下げについて

2016年3月10日

3月10日(現地時間)、ニュージーランド準備銀行(中央銀行)は、政策金利を0.25%引き下げ2.25%にすることを決定しました。事前の市場予想では、金利据え置きが見込まれていたこともあり、発表後、ニュージーランド・ドルは急落、債券市場では大幅に金利が低下しています。

《金利引き下げ決定に至った背景について》

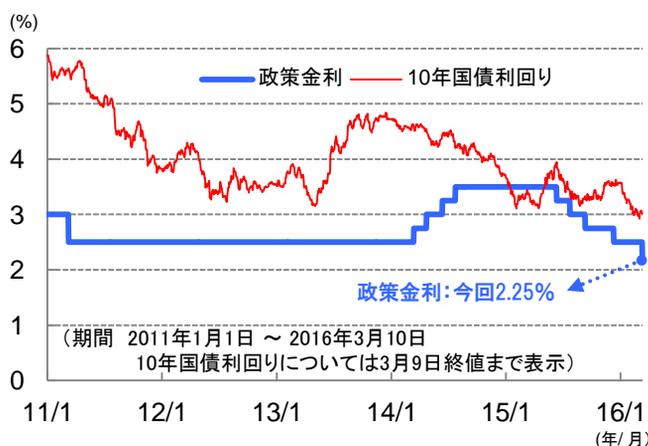
追加利下げに至った背景として、今年に入り中国等新興国の景気減速、世界的な金融市場の変動性の高まりに加え、ニュージーランド・ドルの最近の上昇と乳製品価格の低迷による交易条件悪化への懸念、インフレ期待の低下などが挙げられています。

《今後の景気、為替レートについて》

ニュージーランド準備銀行(中央銀行)は、引き続き、高水準の移民流入、好調な観光・建設部門、緩和的な金融政策により、自国の景気は下支えされるとみています。一方で、世界経済の景気見通しには下方リスクがあるとしており、乳製品価格の低迷、主要輸出品価格の下落とニュージーランド・ドルの増価にも懸念を示しています。また、インフレ期待がかなり低下してきた中で、今後、自己実現的に将来のインフレ率を抑制するリスクも中央銀行は挙げています。今後、インフレ率は目標である+1~3%の範囲に戻ってくるものの、その時期に関しては想定していた以上に時間がかかるとして、更なる追加緩和を示唆しています。

ニュージーランド・ドルは米ドルに対して、昨年9月に底入れし、この2か月間も底堅い動きを示してきましたが、引き続き、乳製品等主要輸出品価格の下落や世界景気の減速は弱材料です。中央銀行も通貨の減価が適切としており、特に円に対して不安定な展開が見込まれます。一方、中国の景気支援策に加え、世界的にも財政支出の必要性が共有化され、中期的には世界景気や資源・エネルギー価格の底入れ、回復が見込まれます。ニュージーランド経済の基礎的条件は相対的に良好であり、今後追加利下げ観測が後退すれば、ニュージーランド・ドルは安定化してくるものとみています。

《ニュージーランドの政策金利と国債利回りの推移》



出所: Bloombergデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

《ニュージーランド・ドルの対円レートの推移》



出所: Bloombergデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。
- 投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。